

肥後熊本藩細川家下屋敷の面影を 残す大名庭園



肥後細川庭園 ヒゴホソカワテイエン

文京区目白台1-1-22 ☎03-3941-2010

この地は幕末期、肥後熊本54万石の藩主細川越中守の下屋敷、抱屋敷でした。自然の丘陵を活かした池泉回遊式庭園には、斜面林や湧水を利用した細い流れなどがあり、変化に富んだ景観を見ることができます。春は、山肌の一部が桜に色づいたあと新緑を迎え、6月上～中旬には肥後六花の一つ「肥後花菖蒲」が咲き誇ります。また、大正時代の面影が残る建物「松聲閣」は、集会室として和室・洋室が利用できるほか、1階休憩室（喫茶）及び2階展望所から庭園が一望できます。

入園料 無料 2月から10月まで、9:00～17:00(入園は16:30まで)
11月から1月まで、9:00～16:30(入園は16:00まで)
休園日 12月28日～1月4日

アクセス 電車 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」下車徒歩15分
東京メトロ東西線「早稲田」下車徒歩15分
都電荒川線「早稲田」下車徒歩5分
都営バス「早稲田」下車徒歩5分
「ホテル椿山荘東京前」下車徒歩7分
文京区コミュニティバスB-ぐる
「目白台一丁目」下車徒歩5分



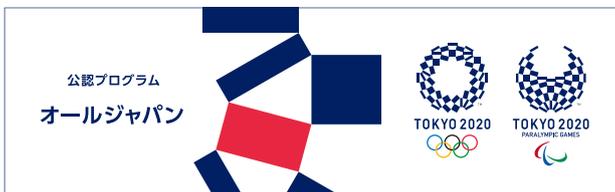
<https://www.higo-hosokawa.jp/>

3/14～4/12イベント等

「さくらウィーク 和の伝統芸能鑑賞」
園内にある大正時代の面影を残す建物「松聲閣」にて、能や落語など、和の伝統芸能に親しむプログラムを開催します。詳しくはホームページをご覧ください。

3/14～4/12サービス等

本パンフレットをお持ちいただいた方には、「呈茶割引サービス(100円引き)」をいたします。



Japanese Garden in Tokyo

春の東京いい庭 キャンペーン

Japanese Garden in Tokyo

キャンペーン期間

令和2年3月14日(土)
～4月12日(日)



朝倉流哲学を愉しむ。

台東区立朝倉彫塑館 (旧朝倉文夫氏庭園)

タイトウクリツアサクラチャウソカン(キュウアサクラファミオンテイエン)

台東区谷中7-18-10 ☎03-3821-4549

国指定名勝「旧朝倉文夫氏庭園」 国登録有形文化財

朝倉彫塑館は、近代日本を代表する彫刻家 朝倉文夫(1883～1964)のアトリエと住居だった建物です。朝倉が自ら設計・監督し、昭和10年に完成しました。朝倉は昭和39年に世を去りますが、その遺志を受けた遺族により昭和42年より朝倉彫塑館として一般公開されてきました(昭和61年より台東区立)。平成13年には建物が国の有形文化財に登録、平成20年には建築と庭園が一体をなす芸術上、鑑賞上の価値が認められ、敷地全体が「旧朝倉文夫氏庭園」として国の名勝に指定されています。彫刻作品、建築、庭園を堪能できる施設です。

入園料 一般500円、小・中・高校生250円
※障害者手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方、及びその介護者は無料です
9:30～16:30(入館は16:00まで)
休館日 月・木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
※展示替え等のため臨時休館することがあります

アクセス 電車 JR山手線、京成、日暮里・舎人ライナー「日暮里」北改札口を出て西口から徒歩5分
台東区循環バス「東西めぐりん」⑨⑩谷中壘園入口下車徒歩8分
駐車場 なし

<http://www.taitocity.net/zaidan/asakura/>

3/14～4/12サービス等

・3月30日(月)は臨時開館いたします。3月30日当日に限り、ご入館いただいた先着100名様に猫のポストカードをプレゼント。



発行/公益財団法人東京都公園協会 令和2年2月発行

マークのついた庭園で本パンフレットを提示していただくと、期間限定のサービスを受けられます!

東京の日本庭園が持つ魅力を体感してください

春の東京いい庭 キャンペーン

開催期間 2020年3月14日(土)～4月12日(日)

～「春の東京いい庭キャンペーン」とは～

東京の日本庭園が持つ魅力を発信するためのキャンペーンで、桜花期に各庭園で特色を生かしたイベント等を実施します。

本キャンペーンは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、東京の日本庭園が持つ魅力を発信することで、都民や東京を訪れる方に広くその魅力を知っていただくため、都立・国立・民間等の庭園により設立した「東京の日本庭園おもてなし協議会」の取組の一環として行うものです。

- ① 浜離宮恩賜庭園
- ② 旧芝離宮恩賜庭園
- ③ 小石川後楽園
- ④ 六義園
- ⑤ 旧岩崎邸庭園
- ⑥ 向島百花園
- ⑦ 清澄庭園
- ⑧ 旧古河庭園
- ⑨ 殿ヶ谷戸庭園
- ⑩ 東京都庭園美術館
- ⑪ 皇居東御苑
- ⑫ 新宿御苑
- ⑬ 東京国立博物館
- ⑭ 国営昭和記念公園 日本庭園
- ⑮ 肥後細川庭園
- ⑯ 台東区立朝倉彫塑館 (旧朝倉文夫氏庭園)
- ⑰ 旧安田庭園
- ⑱ 池田山公園
- ⑲ 豊島区立目白庭園
- ⑳ 山本亭
- ㉑ 薬師池公園
- ㉒ 八芳園
- ㉓ 根津美術館
- ㉔ 毛利庭園
- ㉕ ホテル椿山荘東京
- ㉖ 旧安田楠雄邸庭園
- ㉗ 小石川植物園
- ㉘ 遼溪園

※掲載内容が変更になる場合もあります。詳細については各施設のホームページでご確認ください。

庭園めぐりに便利な一日乗車券

都営まるごときっぷ



大人 700円
小児 350円

都営地下鉄、都電、都バス、日暮里・舎人ライナーを1日に限り何回でも乗車いただけます。

都営地下鉄・東京メトロ 一日乗車券



大人 900円
小児 450円

都営地下鉄と東京メトロの全線を1日に限り何回でもご乗車いただけます。

東京フリーきっぷ



大人 1,600円
小児 800円

都営地下鉄(全線)、都電、都バス(多摩地域を含む)、日暮里・舎人ライナー、東京メトロ(全線)、JR線(都区内)を1日に限り何回でもご乗車いただけます。

☆都営交通路線、東京メトロ沿線の施設や店舗で提示すると、割引やプレゼントなどの特典を受けることができます。(対象乗車券のご利用当日に限ります。)

※特典の内容は、一日乗車券特典ガイドブック「ちかとか」をご覧ください。

(<https://chikatoku.enjoytokyo.jp/>)

☆①～⑨の庭園で「東京フリーきっぷ」を提示していただくと、入場料が2割引き!

江戸の潮風そよぐ浜御殿

浜離宮恩賜庭園

ハマリキョウオンシテイエン

中央区浜離宮庭園1-1 ☎03-3541-0200

特別名勝・特別史跡「旧浜離宮庭園」

海水を引き入れた潮入の池と、二つの鴨場を伝え、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川将軍家の庭園です。承応3(1654)年、徳川将軍家の鷹狩場に、四代将軍家綱の弟松平綱重が、海を埋め立てて別邸を建てました。その後、この屋敷は将軍家の別邸となり、「浜御殿」と呼ばれるようになりました。以来、歴代将軍によって幾度かの造園と改修工事が行われ、現在の姿の庭園が完成しました。明治維新ののちは皇室の離宮となり、名称を「浜離宮」と変え、昭和20(1945)年11月3日、東京都に下賜され、昭和21(1946)年4月から「浜離宮恩賜庭園」として公開されました。その後、昭和27(1952)年に、国の特別名勝・特別史跡に指定されました。

入園料 一般300円、65歳以上150円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円
9:00～17:00(入園は16:30まで) 休園日 12月29日～1月1日

アクセス 電車[大手門口]都営大江戸線「汐留」「築地市場」ゆりかもめ「汐留」下車徒歩7分
JR山手線・京浜東北線・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋」下車徒歩12分
[中の御門口]都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留」下車徒歩5分
JR山手線・京浜東北線「浜松町」下車徒歩15分
車楽地場外市場方面から新大橋通り「汐先橋」交差点手前を左折(大手門橋を渡る)

駐車場 [大手門口]中型・大型観光バス6台、障害者・車椅子の方等の車7台
※無料。但し、一般の乗用車は付近の公共駐車場をご利用ください。また、中の御門口に駐車場はありません。

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index028.html>

3/14～4/12イベント等

- ①春の開園時間延長
3月20日(金・祝)～4月5日(日)18時まで1時間延長(入園は17:30まで)
- ②庭園ガイドボランティアによる庭園ガイド/無料
日本語:土・日・祝 11:00・14:00
英語:土・月 11:00 ※外国の方が対象になります。

JR浜松町駅から徒歩1分、 都会のオアシス



旧芝離宮恩賜庭園

キョウシバリキョウオンシテイエン

港区海岸1-4-1 ☎03-3434-4029

国指定名勝「旧芝離宮庭園」

小石川後楽園とともに、今に残る最も古い大名庭園のひとつ。典型的な「池泉を中心とした回遊式庭園」で、その地割りと石組は秀逸です。かつては海面でしたが埋め立てられ、延宝6(1678)年に老中・大久保忠朝の邸地となり、忠朝は上屋敷を建てる際に、藩地の小田原から庭師を呼び寄せて作庭し、これを「楽壽園」と命名しました。その後数氏を経て、大正13年1月、昭和天皇のご成婚記念として、東京市(都)に下賜され、同年4月に「旧芝離宮恩賜庭園」として一般公開されました。

入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円
9:00～17:00(入園は16:30まで) 休園日 12月29日～1月1日

アクセス 電車JR山手線・京浜東北線「浜松町」下車北口徒歩1分
都営浅草線・大江戸線「大門」下車B2出口徒歩3分

駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index029.html>

3/14～4/12イベント等

- 庭園ガイド 土・日 14:00(1時間程度) / 無料
※雨天中止



和漢のテーマが調和する名園



小石川後楽園

コイシカワコウラクエン



文京区後楽1-6-6 ☎03-3811-3015

特別史跡・特別名勝「小石川後楽園」

江戸時代初期、寛永6年(1629)に御三家の一つである水戸徳川家藩祖の頼房公が、水戸藩の江戸屋敷の庭園として造成を始め、二代藩主の光圀公の代に完成した庭園です。光圀公は作庭にあたり、明の遺臣朱舜水の意見を用い、円月橋や西湖堤など中国の景観を取入れ、園名も舜水の命名によるなど中国趣味豊かな庭園です。庭園の様式は回遊式築山泉水庭園であり、文化財保護法により国から特別史跡・特別名勝の重複指定を受けた江戸時代を代表する名園です。

入園料 一般300円、65歳以上150円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円
9:00~17:00(入園は16:30まで) 休園日12月29日~1月1日

アクセス 電車都営大江戸線「飯田橋」下車徒歩3分
JR中央・総武線各駅停車「水道橋」飯田橋」下車徒歩8分
東京メトロ東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」下車徒歩8分
東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園」下車徒歩8分

駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index030.html>

3/14~4/12イベント等

庭園ガイド
日本語:土・日・月・祝 11:00・14:00/無料 英語:土 10:00/無料
※雨天中止

時の風が吹く庭園



旧岩崎邸庭園

キューウワサキテイテイエン

台東区池之端1-3-45 ☎03-3823-8340

重要文化財「旧岩崎家住宅」

三菱財閥創業者である岩崎彌太郎の長男で、第3代社長の久彌の邸宅として、明治29年に竣工しました。往時の3分の1の面積を持つ園内には、洋館、和館大広間、撞球室の3棟が現存しています。洋館と撞球室は、鹿鳴館などを設計した英国人建築家ジョサイア・コンドルによるもの。和館は当時の名棟梁、大河喜十郎と伝えられます。明治期の典型的な大邸宅の形式を今に残すものとして、国の重要文化財に指定されています。

入園料 一般400円、65歳以上200円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,600円、65歳以上800円
9:00~17:00(入園は16:30まで) 休園日12月29日~1月1日

アクセス 電車東京メトロ千代田線「湯島」下車徒歩3分
東京メトロ銀座線「上野広小路」下車徒歩10分
都営大江戸線「上野御徒町」下車徒歩10分
JR山手線・京浜東北線「御徒町」下車徒歩15分

駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index035.html>

3/14~4/12イベント等

- ① 午後のミニコンサート 3月7日(土)、8日(日)
各日13:00~15:00 当日10:30より整理券を配布 各回先着100名
- ② 東京・春・音楽祭「桜の街の音楽会」(日時・内容未定)
- ③ 庭園ガイド 毎日実施 11:00・14:00(各回1時間程度)/無料

和歌の心息づく雅な大名庭園



六義園

リクギエン

文京区本駒込6-16-3 ☎03-3941-2222

特別名勝「六義園」

五代将軍・徳川綱吉の信任が厚かった川越藩主・柳澤吉保が元禄15(1702)年に築園した文芸趣味を反映する「回遊式築山泉水庭園」で、池をめぐる園路を歩きながら移り変わる景色を楽しめる繊細で温かな日本庭園です。江戸時代の名大庭園の中でも代表的なもので、明治時代に入って、三菱の創業者である岩崎彌太郎の別邸となりました。その後、岩崎久彌により昭和13(1938)年に東京市(都)に寄付され、昭和28(1953)年に国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。

入園料 一般300円、65歳以上150円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般1,200円、65歳以上600円
9:00~17:00(入園は16:30まで) 休園日12月29日~1月1日

アクセス 電車JR山手線、東京メトロ南北線「駒込」下車徒歩7分
都営三田線「千石」下車徒歩10分

駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index031.html>

3/14~4/12イベント等

- ① しだれ桜と大名庭園のライトアップ
3月20日(金・祝)~4月2日(木) 9時~21時(最終入園は20時30分)
期間中は開園時間を21時まで延長します。また、駒込駅から徒歩2分の染井門を開門します。
- ② 庭園ガイド 土・日 11:00・14:00(各回1時間程度)/無料
※①のライトアップ期間中は毎日、正門と染井門から出発します。
- ③ 英語ガイド 毎月第1・第3日曜 11:00・14:00(各回1時間程度)/無料

江戸時代の花園として、唯一現存する庭園



向島百花園

ムコウジマヒヤッカエン

墨田区東向島3-18-3 ☎03-3611-8705

国指定名勝・史跡「向島百花園」

文化・文政期(1804~1830年)、骨董商を営んでいた佐原鞠場が、交遊のあった江戸の文人墨客の協力を得て、花の咲く草木観賞を中心とした花園として開園しました。百花園とは、一説では「四季百花の乱れ咲く園」という意味でつけられたとされます。開園当初は360本のウメが主体でしたが、後に詩経や万葉集など中国・日本の古典に詠まれている有名な植物を集め、四季を通じて花が咲く庭となりました。庶民的で文人趣味豊かな庭として、大名庭園とは異なった美しさが魅力の庭園です。

入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円
9:00~17:00(入園は16:30まで) 休園日12月29日~1月3日

アクセス 電車東武スカイツリーライン「東向島」下車徒歩8分
京成電鉄押上線「京成曳舟」下車徒歩13分
都営バス亀戸・日暮里(里22)「百花園前」下車徒歩3分

駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index032.html>

3/14~4/12イベント等

庭園ガイド 土・日 11:00・14:00(各回45分程度)/無料

全国から集めた名石が彩る
回遊式林泉庭園

清澄庭園

キョスミテイエン

江東区清澄3-3-9 ☎03-3641-5892

東京都指定名勝「清澄庭園」

江戸の豪商、紀伊国屋文左衛門の屋敷跡と伝えられ、享保年間に久世大和守の下屋敷となり、明治11年、岩崎彌太郎が社員の慰安や貴賓を招待する場として造園しました。その後、隅田川の水を引いた大泉水をはじめ、築山、枯山水を中心に、周囲には全国から取り寄せた名石を配して、明治の庭園を代表する「回遊式林泉庭園」が完成。大正12年の関東大震災で壊滅的被害を受けましたが、東京都への寄付後、昭和7年に再整備され、美しいたたずまいを現在に伝えています。

入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円
9:00～17:00(入園は16:30まで) 休園日12月29日～1月1日

アクセス 電車都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線「清澄白河」下車 A3出口 徒歩3分
駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index033.html>

3/14～4/12イベント等

庭園ガイド
土・日・祝 11:00・14:00(各回1時間程度)/無料



武蔵野の山野草と湧水の庭園

殿ヶ谷戸庭園

トノガヤトテイエン

国分寺市南町2-16 ☎042-324-7991

国指定名勝「殿ヶ谷戸庭園(随宜園)」

武蔵野段丘の南縁「国分寺崖線」と呼ばれている段丘崖とその下端部付近の礫層から湧出する湧水を利用し、雑木林の風致を生かして作られた近代の別荘庭園です。庭園の段丘上には芝生地が広がる洋風庭園があり、崖線の傾斜面はアカマツ・モミジ・竹林・クマザサで覆われ、崖線下には湧水を湛える次郎弁天池を中心とした和風庭園があります。

入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円
9:00～17:00(入園は16:30まで)
休園日12月29日～1月1日

アクセス 電車JR中央線・西武多摩湖線・西武国分寺線「国分寺」下車 南口徒歩2分
駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index036.html>

3/14～4/12イベント等

・3月14日(土)～25日(水) 殿ヶ谷戸庭園のカタクリを楽しむ
・庭園ガイド 土・日・祝 11:00・14:00/無料



和と洋が調和する大正の庭園

旧古河庭園

キュウフルカワテイエン

北区西ヶ原1-27-39 ☎03-3910-0394

国指定名勝「旧古河氏庭園」

武蔵野台地の地形を活かし、北側の小高い丘には洋館を建て、斜面には洋風庭園、低地には日本庭園を配した「和」と「洋」の調和が魅力の庭園です。古河家三代目当主・古河虎之助により造られた現在の建物と庭園は、大正初期の原型を留める貴重な存在です。洋館と洋風庭園は明治から大正にかけ、鹿鳴館や旧岩崎邸庭園洋館などを手がけた英国人建築家ジョサイア・コンドルの設計。日本庭園は、京都の著名な庭師・植治こと小川治兵衛が作庭しました。

入園料 一般150円、65歳以上70円(小学生以下と都内在住・在学の中学生は無料)
年間パスポート一般600円、65歳以上280円
9:00～17:00(入園は16:30まで) 休園日12月29日～1月1日

アクセス 電車JR京浜東北線「上中里」下車徒歩7分
東京メトロ南北線「西ヶ原」下車徒歩7分
JR山手線「駒込」下車徒歩12分
駐車場 なし

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/format/index034.html>

3/14～4/12イベント等

庭園ガイド 土・日・祝 11:00・14:00(各回1時間程度)/無料

緑の庭園に建つアール・デコ様式の美術館

東京都庭園美術館

トウキョウトテイエンビジュツカン

港区白金台5-21-9 ☎03-5777-8600,4月1日より 050-5541-8600(ハローダイヤル)

重要文化財旧朝香宮邸

1933年(昭和8)建設されたアール・デコ様式の旧朝香宮邸、その空間をいかした展覧会と庭園が調和した東京都庭園美術館は、1983年(昭和58)の開館以来、皆様に親しまれてきました。2014年(平成26)ホワイトキューブのギャラリーを備えた新館が完成して新たな創造空間が加わり、文化財保護と新しい価値創造を目指して芸術作品鑑賞の機会を提供してまいります。

入館料(庭園入場料を含む)

展覧会によって異なります。【2月1日～4月7日】一般1,100円、大学生880円、中・高校生・65歳以上550円*そのほかの日程の詳細は、ホームページをご覧ください。

庭園入場料 一般200円、大学生(専修・各種専門学校含む)160円、中・高校生・65歳以上100円(小学生以下および都内在住・在学の中学生は無料)
10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館(休園)日毎月第2・第4水曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館)、年末年始

アクセス 電車JR山手線「目黒駅」東口/東急目黒線「目黒駅」正面口より徒歩7分
都営三田線・東京メトロ南北線「白金台駅」1番出口より徒歩6分
車首都高速2号線「目黒出口」出てすぐ、「庭園美術館西」交差点を左折してください。
白金台方面からお越しの場合、右折で入ることができません。その先の「上大崎」交差点で右折し、そのまま右折レーンに入って次の「庭園美術館西」交差点で右折してください。
駐車場 料金:普通自動車1,500円、大型車4,000円 ※時間制限なし

<https://www.teien-art-museum.ne.jp>

3/14～4/12イベント等

・2月1日(土)～4月7日(火) 「北澤美術館所蔵 ルネ・ラリック」展を開催予定
・3月27日(金)・28日(土)、4月3日(金)・4日(土)は、20時まで夜間開館し、庭園の桜をライトアップ



皇室のお庭
—都心で自然に親しむ

皇居東御苑 コウキョヒガシギョエン

千代田区千代田1 ☎03-3213-1111

特別史跡「江戸城跡」

皇居東御苑は、皇居の中にある皇室のお庭で、一般の方々にも自由に入園いただけます。上皇・上皇后両陛下は、普段からよく皇居東御苑においでになっています。皇居東御苑は、草木に分かりやすい名札がつけられ、近代以前の日本で食されていた古い品種が植えられた果樹園、流れがあって、昆虫や野鳥が好む落葉広葉樹が植えられた雑木林など、入園者に、四季折々の多様な景色を楽しんでもらえるように、上皇・上皇后両陛下のお考えにより様々な工夫が凝らされています。

入園料 無料 3月1日～4月14日、9月 9:00～17:00(入園は16:30まで)
4月15日～8月31日 9:00～18:00(入園は17:30まで)
10月 9:00～16:30(入園は16:00まで)
11月～2月 9:00～16:00(入園は15:30まで)

休園日月曜日・金曜日 12月28日～1月3日

アクセス 電車〔大手門〕東京メトロ丸ノ内線・東西線・千代田線・半蔵門線・都営三田線
〔大手町〕下車徒歩約5分 JR〔東京〕下車徒歩約15分
〔平川門・北桔橋門〕東京メトロ東西線〔竹橋〕下車徒歩約5分

駐車場 なし

<https://www.kunaicho.go.jp/>



春の庭園開放

東京国立博物館 トウキョウコクリツハクブツカン

台東区上野公園13-9 ☎03-5777-8600(ハローダイヤル)

東京国立博物館の本館北側には、四季折々の花や紅葉に彩られる庭園があります。池を中心に5棟の茶室を配し、珍しい樹木や野草が植えられているのが特徴です。また、5代将軍徳川綱吉が法隆寺に献納した五重塔、石碑や燈籠などが庭園には残されています。春の桜の季節と秋の紅葉の季節には、自由に散策することができます。

入園料 総合文化展観覧料で入園可 一般620円、大学生410円
*障がい者とその介護者各1名、高校生以下および18歳未満、70歳以上の方は無料
*特別展は別途観覧料が必要
*4月1日以降の観覧料については、ウェブサイトをご確認ください。
休館日月曜日
*変更になる場合がありますので、ウェブサイト等でご確認ください。

アクセス 電車JR〔上野〕公園口、〔鶯谷〕南口下車徒歩10分
東京メトロ〔上野〕〔根津〕、京成電鉄〔京成上野〕下車 徒歩15分

駐車場 なし

<https://www.tnm.jp/>

3/14～4/12イベント等

- ・「博物館でお花見を」 3月10日(火)～4月5日(日)
- ・春の庭園開放 3月10日(火)～4月19日(日) 10:00～16:00
※悪天候により中止となる場合があります。
- ・庭園ライトアップ 3月10日(火)～4月19日(日)のうち、金・土曜日の夜間開催
- ・特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」 3月13日(金)～5月10日(日)
- ・特別展「きもの KIMONO」 4月14日(火)～6月7日(日)

多様な庭園様式をあわせ持つ
旧皇室庭園

新宿御苑 シンジュクギョエン

新宿区内藤町11 ☎03-3350-0151

国指定重要文化財「新宿御苑旧洋館御休所」

天正18(1590)年に信州高遠藩主、内藤氏が徳川家康より拝領したこの地に下屋敷を建てたことに始まり、明治5(1872)年には日本の近代農業振興を目的とする内藤新宿試験場が設置され、その後、宮内省所管の新宿植物御苑となり、明治39(1906)年に皇室庭園として整備されました。戦後になり「国民公園」として一般に開放された広さ58.3ha、周囲3.5kmの園内では、整形式庭園、風景式庭園、日本庭園といった多様な庭園や、春の桜や秋の紅葉など四季折々の風景が楽しめます。

入園料 一般500円、65歳以上250円、学生(高校生以上)250円、中学生以下無料
※65歳以上及び学生(高校生以上)は証明書の提示が必要
年間パスポート 一般(65歳以上・学生含む)2,000円 高校生1,000円
9:00～16:30(入園は16:00まで) 3月15日～9月30日は18:00(入園は17:30まで)
※季節により異なるため、詳細はホームページ参照
休園日毎週月曜日(祝日と重なる場合はその翌日)※3月25日から4月24日まで及び11月1日から15日までは無休、年末年始(12月29日～1月3日)

アクセス 電車〔新宿門〕東京メトロ丸ノ内線・副都心線、都営新宿線〔新宿三丁目駅〕下車徒歩5分 JR、京王線、小田急線〔新宿駅〕南口下車徒歩10分
〔大木戸門〕東京メトロ丸ノ内線〔新宿御苑前駅〕下車徒歩5分
〔千駄ヶ谷門〕JR中央・総武緩行線〔千駄ヶ谷駅〕下車徒歩5分 都営大江戸線〔国立競技場駅〕下車徒歩5分

駐車場 普通車200台(入園者:2時間まで600円 以後30分毎200円、入園者以外:30分毎330円、大型車は1時間2,200円 以後30分毎550円)

<https://www.env.go.jp/garden/shinjukugyoen/>



武蔵野の樹林地を基調とした日本庭園
—盆栽苑を併設—

国営昭和記念公園 日本庭園

コクエイショウワケンネコウエン ニホンテイエン

立川市緑町3173 ☎042-528-1751(自動応答システム)

武蔵野の豊かな緑と明るい樹林地の景観を基調とし、四季折々の季節感を自然写景により表現した庭園です。日本の伝統的造園技術を駆使して作庭した「池泉回遊式庭園」で、戦後に作られた日本庭園としては首都圏最大級です。中心に大きな池を作り、池の周辺には庭のたたずまいに対応し、銅板葺き木造寄屋建築の「飲楓亭」や、大窓から池を眺望できる「清池軒」などの建築を配しています。また、飲楓亭では本格的な茶会をお楽しみいただけます。庭園内には「盆栽苑」が併設され、専門スタッフの解説を受けながら、国風盆栽展級の盆栽を含む約50点の季節の盆栽をご鑑賞いただくこともできます。

入園料 大人450円、小・中学生無料、65歳以上210円
※国営昭和記念公園の入園料に日本庭園への入園料も含む。
3月～4月 (平日)9:30～17:00 (休日)9:30～18:00
休園日年末年始(12月31日・1月1日)、2月の第4火曜日とその翌日

アクセス 電車JR青梅線〔西立川〕下車徒歩1分(〔西立川口〕より入園)
JR中央線〔立川〕下車徒歩15分(〔立川口〕より入園)
※上記は、最寄り駅から国営昭和記念公園の代表的なゲートへの時間です。
車中央自動車道〔国立府中IC〕から都道256号・16号を經由し、都道153号を
国営昭和記念公園へ8km(約30分)

駐車場 2531台(大型1,750円、普通車820円、二輪車260円)

<http://www.showakinen-koen.jp/>



安田善次郎が愛した庭園



旧安田庭園

キュウヤスタディエン

墨田区横網1-12-1 ☎03-5608-6661

東京都指定名勝

旧安田庭園は、安田財閥の創始者である安田善次郎が明治27年に作庭した庭園で、平成8年3月に東京都指定名勝に指定されました。この庭園は、かつては隅田川の水を引いた汐入池を有する池泉廻遊式庭園でした。現在は、この汐入池を人工の施設で再現しています。また、庭園は、JR両国駅、都営両国駅から徒歩約5分とアクセスに優れ、周辺には国技館、江戸東京博物館、すみだ北斎美術館などの文化施設、観光スポットもたくさんありますので、ぜひ、ご来園ください。

入園料 無料
9:00～18:00(4月～9月は、9:00～19:30)
休館日 12月29日～1月1日

アクセス 電車 JR総武線「両国駅」下車徒歩5分
都営大江戸線「両国駅」下車徒歩5分
都営バス「旧安田庭園前」下車
区内循環バス「旧安田庭園・同愛記念病院」下車
駐車場 なし

https://www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/kouen/kunai_park_annai/sumida_park/park08.html

一部、庭園の整備工事で通行できない可能性があります。



四季折々の風景を楽しむ 都会のオアシス



豊島区立目白庭園

トシマクリツメジロテイエン

豊島区目白3-20-18 ☎03-5996-4810



平成2年に完成した池泉廻遊式庭園で、日本の代表的な造園家である伊藤邦衛の作庭です。伝統の心とかたちを大切に、日本人の自然観や美意識に調和した現代の庭です。池の周囲は築山やその頂から落ちる滝、渓谷など起伏と変化に富み、四季折々の花木が庭園を彩り、小さいながらも見所に溢れています。児童文芸雑誌「赤い鳥」にちなんで建てられた「赤鳥庵」では、茶会や演奏会なども開催されます。

入園料 無料 9:00～17:00 夏季(7月～8月)は9:00～19:00
休園日 第2・第4月曜日(祝休日の場合は開園、翌日休園)
12月29日～1月3日

アクセス 電車 JR「目白」下車徒歩約5分、JR「池袋」下車徒歩約15分
駐車場 なし

<http://www.seibu-la.co.jp/mejiro-garden/>
(4月1日より)

<https://www.city.toshima.lg.jp/339/machizukuri/sumai/koen/000869.html>

3/14～4/12サービス等

本パンフレットをお持ちいただいた方には、オリジナルポストカードをプレゼント。



旧岡山藩下屋敷跡を整備した 池泉廻遊式庭園



池田山公園

イケダヤマコウエン

品川区東五反田5-4-35 ☎03-3447-4676

かつての大名下屋敷の一部を整備した小公園で、武蔵野台地末端の起伏に富んだ地形を生かして高台にはのぞき池方式の四阿、底部にはひょうたん池を配し、その周辺を巡る池泉廻遊式庭園としています。また、山野草類を各所に配植し、斜面にはサツキ・ツツジ類、周辺にはモミジ類があり、四季を通して憩いの場となっています。(池田山公園は現在、バリアフリー化工事中です。4月上旬より全面オープン予定。)

入園料 無料 7:30～17:00(7・8月を除く)
7:30～18:00(7・8月)
休園日 12月29日～1月3日

アクセス 電車 JR山手線・東急池上線・都営地下鉄浅草線「五反田」下車徒歩15分
JR山手線・東急目黒線・都営地下鉄三田線・東京メトロ南北線「目黒」下車徒歩15分
駐車場 なし



昭和初期の庭園様式が残る 書院庭園



山本亭

ヤマモトテイ

葛飾区柴又7-19-32 ☎03-3657-8577

葛飾区登録文化財「山本亭附庭園」 東京都選定歴史的建造物「葛飾区山本亭」

庭園は270坪の広さがあり、縁先の近くには池泉を、背後には緑濃い植え込みと築山を設けて滝を落とすという典型的な書院庭園です。昭和初期における庭園様式を現在まで残した稀有な例です。滝は池の最も遠い部分の入江奥に設けられ、庭園に奥行の深さと心地よい滝の音を作り出しています。入館料は100円となっており、別途有料で喫茶メニューをご用意しております。庭園を眺めながら、ごゆっくりお過ごしください。

入園料 100円(中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料) 9:00～17:00
休館日 第3火曜日(祝日・休日の場合は、直後の平日)、12月の第3火曜日から木曜日

アクセス 電車 京成電鉄金町線「柴又」駅徒歩8分
北総鉄道「新柴又」駅徒歩12分
京成バス小岩駅～金町駅 「柴又帝釈天」下車徒歩7分
駐車場 近隣に柴又公園駐車場あり(首都高四つ木出口より約20分)。
柴又公園駐車場 普通車192台、大型車(バス)7台
駐車料金(1回):普通車500円、大型車(バス)2,000円

<http://www.katsushika-kanko.com/yamamoto/>

3/14～4/12イベント等

- ①箏演奏 3月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)、4月5日(日)、12日(日) 13:00～14:00
- ②百々亭さてん独演会(落語・日本舞踊) 3月14日(土) 14:00～15:30
- ③大正琴演奏会 3月21日(土) 13:30～14:30
- ④北村歩ギターの調べ 3月28日(土) 13:00～13:30 / 14:00～14:30
- ⑤観桜茶会 山本亭茶室にて(有料) 4月5日(日) *詳細・申込はお電話にて承ります。

町田薬師池公園四季彩の杜 薬師池



薬師池公園 ヤクシイケコウエン

町田市野津田町3270 ☎042-724-4399 (町田市公園緑地課)
※お問い合わせは平日のみ

東京都指定名勝「福王寺旧園地(薬師池公園)」

薬師池公園は、1982年に「新東京百景」、1998年には「東京都指定名勝」に指定。さらに、2007年に「日本の歴史公園100選」に選定された町田市を代表する公園です。園内中心部には池があり、梅、椿、桜、花しょうぶ、大賀ハス、新緑・紅葉等、四季折々の彩が訪れる人々を楽しませてくれます。また、江戸時代の古民家2棟(旧永井家住宅と旧荻野家住宅)が移築されていて、当時の暮らしなどを感じることができます。

入園料 無料 6:00~18:00
※季節により異なるため、詳細はホームページを参照してください。
休園日 年中無休

アクセス バス小田急町田駅北口(POPビル先)
21番乗り場から本町田経由鶴川行き、
または本町田経由野津田車庫行きバスで「薬師池」か「薬師ヶ丘」下車。
バスは「神奈川中央交通株式会社」で「町田駅」から「薬師池」までおよそ30分
で到着します。
車東名高速道路 横浜町田ICより町田街道・鎌倉街道経由で約11km
中央自動車道 国立府中ICより日野バイパス経由で約12km
圏央道 相模原愛川ICより相模原町田線・鎌倉街道経由で約11km
駐車場 北駐車場:136台、東第1駐車場:156台、東第2駐車場:27台
※詳細はホームページを参照してください。

<https://www.city.machida.tokyo.jp/bunka/park/shisetsu/park01.html>

四季に彩られた17,000㎡の都心のオアシス



根津美術館 ネヅビジュツカン

港区南青山6-5-1 ☎03-3400-2536

東武鉄道社長などを務めた実業家 初代根津嘉一郎の遺志により、1941年南青山に開館した根津美術館は、国宝7件、重文87件を含む約7400件の日本と東洋の古美術品を擁します。隈研吾設計の展示棟では、年7回の展覧会が開催され、独特の静謐な雰囲気醸成されています。嘉一郎の私邸時代の面影を残す約17000㎡の緑豊かな日本庭園には4棟の茶室が点在し、初夏の燕子花、秋の紅葉など四季折々の見どころが楽しめます。

入館料 大人1,100円または1,300円、学生800円または1,000円
(庭園の入場も、美術館入館料が必要)
10:00~17:00(最終入館16:30)
休館日 月曜日、展示替え期間、年末年始

アクセス 電車東京外口銀座線・半蔵門線、千代田線
「表参道」下車A5出口から徒歩約8分
駐車場 9台(うち身障者優先駐車場1台)、無料

<http://www.nezu-muse.or.jp>

3/14~4/12イベント等

・2月22日(土)~3月29日(日)
特別展「虎屋のおひなさま」(入館料1,300円)
※3月30日(月)~4月16日(木)は、展示替えのため全館休館。



2月の河津桜から八芳園の春は始まります



八芳園 ハッポウエン

港区白金台1-1-1 ☎03-3441-7888

江戸時代から続くと言われている八芳園の庭園には早咲きの河津桜から始まり、吉野桜、しだれ桜、八重桜と85本の桜が順番に開花していくため長く桜を楽しむことができます。この桜は、庭園だけでなく、お茶室・カフェ・レストラン・料亭からも食事とともに桜を眺めることができます。また際には特別ライトアップを実施しており昼とは違う夜桜見物もおおすすめです。

入園料 無料(レストランなどの施設をご利用ください) 10:00~22:00
休園日 夏期休業期間および年末年始

アクセス 地下鉄の場合 白金台駅(東京外口南北線・都営三田線)2番出口より徒歩1分
JRの場合 JR目黒駅東口より徒歩15分。タクシー6分
JR五反田駅よりタクシー8分
JR品川駅高輪口より都営バス目黒駅行
白金小学校前下車1分 タクシー8分
車首都高速道路2号線「目黒出口」より左折3分
駐車場 約120台 無料

<https://www.happo-en.com/>

3/14~4/12イベント等

・2月16日(日)の河津桜~4月12日(日)まで順次、桜ライトアップ。レストランでは桜特別メニューを用意しています。
・3月下旬には飲み食べ放題の桜花爛漫祭開催予定。



現代建築と現代アートに 彩られた日本庭園



毛利庭園 モウリテイエン

港区六本木6丁目 ☎03-6406-6000

大正8年、乃木大将誕生地として旧跡(現東京都旧跡)に指定
昭和18年、毛利甲斐守邸跡として東京都指定旧跡に指定

江戸時代、毛利家の大名屋敷とその庭園があった地に、毛利庭園は誕生しました。大名屋敷のなごりを今に伝える一方、庭園内には現代アートが点在します。六本木ヒルズの現代建築も相まって、伝統と新しさが融合する他では見れない独特の景観が生まれています。庭園中央にある毛利池には1994年にスペースシャトル内で誕生した「宇宙マダカ」の子孫が泳ぎ、毎年カルガモもやって来る等、新たな歴史も始まっています。

入園料 無料 7:00~23:00
休園日 年中無休

アクセス 電車東京外口日比谷線「六本木」下車1C出口徒歩0分
都営大江戸線「六本木」下車3出口徒歩4分
バス六本木ヒルズ森タワー1F「六本木ヒルズ」バスのりば
けやき坂通りテレビ朝日前「六本木けやき坂」バスのりば
六本木通り沿い「六本木駅前」|「EXシアター六本木前」バスのりば
車【渋谷方面】首都高速「渋谷」出口より10分
【杉並、新宿方面】首都高速「外苑」出口より15分
【池袋方面】首都高速「霞が関」出口より10分
【目黒、羽田、品川方面】首都高速「飯倉」出口より10分
【上野、千葉、芝公園方面】首都高速「芝公園」出口より10分
駐車場 普通車台数/約2760台
300円/30分(全日0:00~24:00)

<https://www.roppongihills.com/green/>

3/14~4/12イベント等

六本木ヒルズ 春まつり2020 4月3日(金)~4月5日(日)

3/14~4/12サービス等

本パンフレットをお持ちの方は、東京都心部を見渡すことができる東京シティビューの入館料が200円off(一般料金のみ) ※美術館等のご利用には別途入場料が必要です。

四季を感じて心を解きはなつ



ホテル椿山荘東京

ホテルチンザンソウトウキョウ

文京区関口2-10-8 ☎03-3943-1111(代表)

「椿山荘三重塔」国登録有形文化財 「椿山荘残月」国登録有形文化財

山の造形美を誇る庭園には、秩父山系の湧き水が巡り、多くの動植物が集います。起伏に富み、推定樹齢500年の椎の木、100種1,000本の椿のほか、桜やモミジなどの木々が茂り、さながら森のような都会のオアシス。その中を虫や鳥が舞い、季節の花が咲きます。そして、いにしへの時代から続く、雪見・花見・螢鑑賞、月見、紅葉狩りという風習は、今もここに残ります。また、仏塔や羅漢石などの木・石造品が点在しており、まるで史跡から季節の移ろいが見えるようです。

入園料 ホテル利用者のみ 6:00～23:00 年中無休

アクセス 電車東京メトロ有楽町線「江戸川橋」1a出口より徒歩約10分。
バス等JR山手線「目白」より都営バス新宿西口行きにて約10分、「ホテル椿山荘東京前」下車。又はタクシーにて約7分。
車【羽田・銀座方面から】首都高速5号線「早稲田」ランプ出口左折、「江戸川橋」交差点左折、2つ目の信号「目白坂下」左折。
銀座から約20分、JR「東京駅」から約25分。
【埼玉方面から】首都高速5号線「東池袋」出口左折、つきあたり左折、「護国寺西」交差点右折、つきあたり「目白台2丁目」交差点左折。目白通り直進。

駐車場 収容台数400台 2時間未満 30分500円(入庫より30分無料)
2時間以上 30分400円

<https://hotel-chinzanso-tokyo.jp/>

3/14～4/12イベント等

3月1日(日)～4月12日(日)桜buffe(ランチ・ディナー)開催 ※開催除外日あり

幕府の御薬園を引き継ぐ
東京大学の植物園



小石川植物園

コিশカワショクブツエン

文京区白山3-7-1 ☎03-3814-0138

国指定名勝及び史跡

徳川幕府の御薬園の歴史を引き継ぐ東京大学附属の植物園で、植物学の研究教育の拠点となっている。16ヘクタールの園地は緑に覆われ、温室、分類標本園等の施設、台地、傾斜地、低地、泉水地などの地形を利用して、野生植物を主に4000種以上が植栽されている。また、日本庭園、旧養生所の井戸、精子発見のイチョウ、ニュートンのリンゴなど、長い歴史を物語る数多くの由緒ある植物や遺構が今も残されている。

入園料 大人(高校生以上)500円、小人(中学生、小学生)150円
9:00～16:30(入園は16:00まで)
休園日月曜(祝日と重なる場合は直後の平日)

アクセス 電車都営地下鉄三田線「白山」下車 A1出口 徒歩約10分
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」下車 出入口1 徒歩約15分
都営バス(上60)大塚駅～上野公園線「白山2丁目」下車 徒歩約3分

駐車場 なし

<https://www.bg.s.u-tokyo.ac.jp/koshikawa/>

大正・昭和期の
山の手住宅の庭園



旧安田楠雄邸庭園

キュウヤスダクスオテイテイエン

文京区千駄木5-20-18 ☎03-3822-2699(水・土曜日のみ)

東京都指定名勝「旧安田楠雄邸庭園」

「豊島園」の創始者で実業家の藤田好三郎によって大正8年に邸宅がつくられ、その後庭園が完成。関東大震災後に安田善四郎が買い取り、平成7年にご当主の楠雄氏が亡くなるまで大切に住み続けられました。庭園は雁行式に建てられた邸内の各部屋から眺めるための造りとなっており、それぞれに違った趣の景色を楽しむことができます。ボランティアの皆さんが愛情込めて手入れをしている庭園・邸宅をぜひご覧ください。

入館料 大人500円、中高生200円、小学生以下無料
10:30～16:00(入館は15:00まで)
水曜日と土曜日のみ開館(日・月・火・木・金曜は休館)
*イベント時、料金変更の場合あり

アクセス 電車東京メトロ千代田線「千駄木」下車1番出口から徒歩7分
JR山手線「日暮里」「西日暮里」下車徒歩15分
バスB-ぐる18番「特養ホーム千駄木の郷」から徒歩1分

駐車場 なし

http://www.national-trust.or.jp/protection/index.php?c=protection_view&p=k=1491201890

3/14～4/12イベント等

・3月18日(水)、25日(水)、4月1日(水)、8日(水)のみ、特別に庭園の園路を開放します(上記日程以外は、邸内からの鑑賞となります)。*雨天時、中止の場合あり。
・ボランティアガイドによる建物案内があります(ガイドツアー時間はウェブサイトでご確認ください)。

江戸最後の名庭



濠溪園

スイケイエン

葛飾区柴又7-10-3 ☎03-3657-2886

東京都指定名勝「濠溪園」 東京都歴史的建造物「大客殿」

濠溪園の名は、庭園の滝の風情が幽邃でもの静かであることによります。昭和40年、関東の高名な造園師、永井楽山翁によって完成されました。楽山翁は戦前よりこの庭園を手掛け、92歳で没するまで心血をそそぎました。

入園料 庭園・彫刻ギャラリー共通 大人400円、子供(小・中学生)200円
9:00～16:00 休園日12月28日～1月3日(庭園のみ休園)

アクセス 電車京成線「柴又」下車徒歩3分
北総公団線「新柴又」下車徒歩12分
バスJR小岩駅より京成バス(金町行)に乗り20分程、「柴又帝釈天」下車
JR金町駅より京成バス(小岩行)に乗り10分程、「柴又帝釈天」下車
車蔵前通りまたは水戸街道から柴又街道に入り、「柴又帝釈天前」交差点を江戸川河川敷方向へ

駐車場 約40台(15分100円)

<http://www.taishakuten.or.jp>

3/14～4/12イベント等

3月22日(日) 濠溪園内茶室不答庵・お茶会体験会(席料お一人700円)
4月5日(日) ジブシーギター・若柳吉三郎演奏会(無料) 13:00～13:30 14:00～14:30